

りんごの森

2025

2

No.511



特集 令和6年青森りんごベトナム向け輸出

ベトナム市場から見た県産リンゴの評価



JA.SOUMAMURA



ベトナム市場から見た 県産リンゴの評価

～10年目を迎えたベトナム向け輸出～

今年で10年目を迎えたベトナム向けリンゴ輸出。ベトナムでは大玉で高品質な青森県産リンゴが好評であり、特に、年明けを祝うベトナム最大の祝祭「テト」期間中に贈答用としての需要が高い。しかしながら、現地では他国産リンゴも多数並んでおり、10年前に比べると他国産リンゴの品質が向上してきているのも現状だ。市場評価としては安価で購入しやすい他国産リンゴと高品質で高価な本県産リンゴという位置付けがされているものの、競争は激化しているようにも見える。今回、ベトナムの旧正月「テト」を前に活気づく現地を訪れ、県産リンゴの販売状況視察及び取引先との情報交換を行ったことから、他国産リンゴとの競争を勝ち抜くために何が求められているのかを共有し、更なる産地強化に繋がっていきたいと思う。

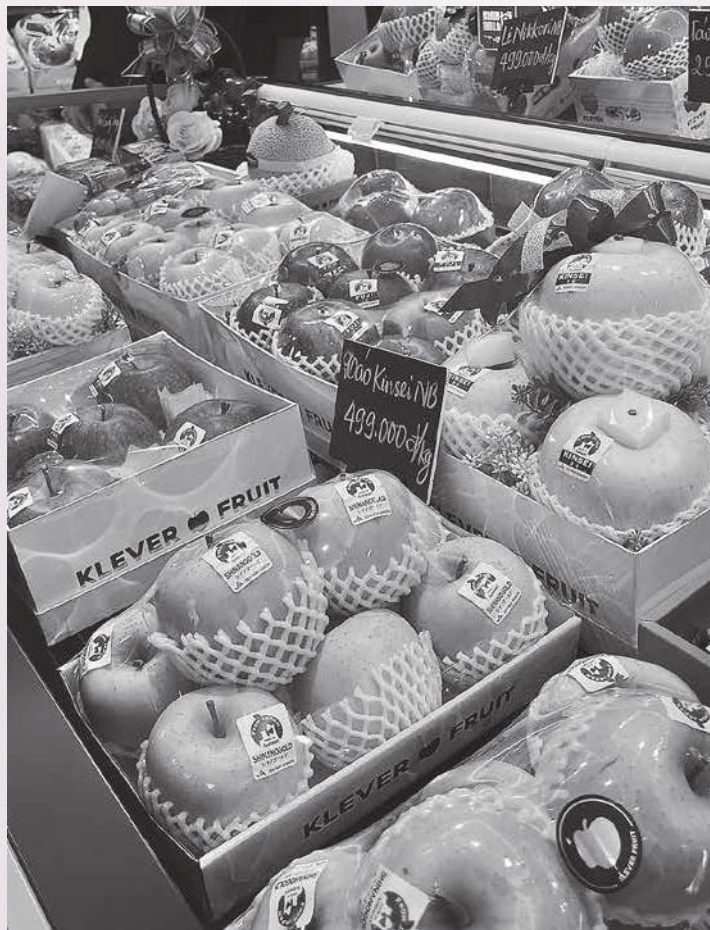
これまでの取組経過

平成27年に収穫までの袋掛けを条件として輸出が解禁され、新たな市場として有望視された「ベトナム社会主義共和国」。検疫条件には生産園地の登録やベトナムが侵入を警戒する病害虫に対する検疫措置が含まれており、園地や選果梱包施設における植物防疫官の検査を毎回経て輸出が行なわれている。これまで当JAを含む県内4JAが取組み、世界一・陸奥・有袋ふじ・王林・金星・シナノゴールド・サンふじ・ジョナゴールドの8品種の輸出を進めている状況だ。また、販売促進については、現地でのPR活動やSNSを用いた 프로모ーション活動も実施し、旧正月の贈答需要は基より、旧正月以降の需要拡大に向けて県産リンゴの認知度向上にも努めてきている。

ベトナムの果実需要

ベトナムでは日常的に果物を食べる習慣があり、食後は必ずといっていいほど果物を食べる。また、現地のハッピーカラーとして黄色は特に親しまれる傾向があり、県

産リンゴの8品種の中でも大きくて甘い「金星」は輸出当初から非常に人気が高い。また、酸味とシャキシャキとした食感のある果物も好むため、令和5年産から輸出を始めた「シナノゴールド」は、金星に次ぐ有望品種として認知されつつあり、黄色リンゴは日常的に一定数の需要がある。赤いリンゴについては贈答用としての需要が高く、特に「世界一」「陸奥」については旧正月に合わせ、大玉で見映えのよいリンゴとして選ばれ



ることが多く、安心安全・高品質な県産リンゴは他国産リンゴに比べて非常に高い値段で売られているのが現状だ。県産リンゴを購入してくれる消費者の期待を裏切ることがないように今後も高品質なリンゴを生産及び販売していかねばならないことを再認識する機会となった。

県産リンゴの信頼維持

現在に至るまで県産リンゴの認知度と評価を獲得してきた一方、

産地事情における生産量の減少と栽培環境の変化は今後の課題として挙げられ、近年の温暖化に伴う産地での収穫前落果や硬度低下は特に問題視されている。また、ベトナムは日本よりも温暖な気候であることから、収穫時点での硬度低下は輸出後の現地において、今まで以上に軟質果をもたらす危険性が高い。リスク回避と消費者との継続的な信頼確保に向けては適期収穫の徹底が重要であることを再認識した。さらに、病害虫の発生種類についても温暖化を背景とした影響が顕著に見られてきている。ベトナム向けリンゴ輸出に限らず、病害では「褐斑病」、「輪紋病」、「すす点・すす斑病」、虫害では「ナシマルカイガラムシ」や「シンクイムシ類」などが挙げられ、この他にも収穫時の「疫病」などにも十分注意していかねばいけない。一度検出されると即出荷停止になる対象病害虫もあるため、産地の信頼維持と安定供給に向けては青森県一丸となつて取り組んでいかなければならない問題だ。



ベトナムの首都ハノイ市

KLEVER FRUIT



人気品種は
前面に陳列



贈答用の
詰め合わせセット



高級フルーツ店クレバーの店内

Family Mart



「AOMORI」を強調した売場



キレイに個包装され陳列される
本県産リンゴ

TONY FRUIT



テトに向けた宣伝ブースの準備が進む

市場動向調査

今回訪れた商談先の、トニーフルーツ社は卸売業等を営む大手だ。商談では、現在の販売状況や消費者の嗜好、今後の展望などを伺うことができた。トニーフルーツ社の意向は県産りんごの取扱数量を増やしたいということと、小玉果等を含む割安な商品も取扱い、消費者層の幅を更に広げていきたい



県産りんご本来のおいしさを届けるために意見交換

このことであつた。大玉・高品質のりんご販売を減らすということではなく、多彩な商品の販売も手掛けていきたいとのことであつた。品質に納得し、高価格でも取扱数量を伸ばしていきたいとの嬉しい申し出の反面、産地においては生産者の減少や労働力不足等を背景とした有袋栽培の生産量維持が課題の一つとして挙げられる。

一方、輸出を広げていく上では、船便出荷に伴う常温輸送にも課題が残る感じた。特に、「サンふじ」については蜜入りがリスクとして挙げられる。輸送中に発生が懸念される果実の内部褐変にも最大限

の注意を払い、商品ロス軽減を考えていかなくてはならない。現地では、有袋果でさえも軟質化が懸念されており、県産りんご本来の美味しさを海外で味わってもらうためにはスマートフレッシュや現地の冷蔵完備施設等も含めて品質保持が大きな課題の一つと感じた。

現地視察を終えて

経済発展が続き、平均所得の増加に伴い富裕層や中間層の割合も増えていたベトナム。現地の販売状況視察では、10年前に比べて県産りんごを手にする客層も広がっていた。また、大玉で見栄えの良い県産りんごは引き続き高い評価を頂いており、店頭では他国産よりも2倍以上の値段で販売され、価格とともに需要も維持されている状況だった。特に、金星・むつ・世界一などの日本にしかないような品種が人気であり、有袋栽培という点も先人たちが築き上げてきた日本ならではの高品質生産技術である。需要が高く、高値で取引されているこれらの品種は生産量が年々減少傾向にある反面、消費者から求められている人気商品と

して生産量維持に努めていきたいところだ。視察では「良いものは高くても売れる」ということが大いに感じられ、高品質生産に取り組んでいることで他国産との差別化が明確に図られていた。産地においては高齢化や補助労働力不足、温暖化の影響といった様々な課題が挙げられ、課題解決に向けては園地の傾斜地から平坦地への移行、省力樹形やスマート農機の導入、スマホアプリを活用した人手確保、日焼け果や軟質果・収穫前落果等の高温障害対策資材の活用など、多方面への取り組みがより一層必要と感じた。他国産りんごとの競争



多くの他国産りんごが陳列棚を占める



1 kgあたり2,000円を超える青森県産りんごも

に打ち勝っていくためには、今後品質に対する消費者との信頼維持に努め、「日本産」「青森県産」として求められる高品質なりんごを継続して届けていくことが重要だ。

当JAでは高品質安定生産に向けた栽培をこれからもサポートし、生産から選果・貯蔵・出荷までの一連の流れをしっかりと進めて参ります。また、輸出に偏ることなく国内需要の維持に努め、農家所得向上を目指します。今後地域一丸となって産地力強化を図り、令和7年産も美味しい「飛馬りんご」を作り上げましょう。

農業振興課 佐々木 善久

RRC個人加入説明会

12月19日

12月19日、ライスロマンクラブでは、弘前市役所相馬庁舎において個人加入説明会を開催しました。

ライスロマンクラブの発足から20年が経ち、栽培面積の減少が進んでいます。面積を維持し今後安心して稲作経営をしていくために、現在14戸ある個人農家向けに説明会を開催しました。令和7(9)年は加入促進キャンペーンとして、通常徴収している加入金を無料とすることなどが説明されました。6人の生産者が参加し、加入に関しての具体的な質問が飛び交いました。

説明会后、

花田勇人組合長は「加入を前向きに検討してくれる方もおり、開催した意義を感じた」と話しました。



加入に前向きな質問が多く出ました

早生・中生種 精算報告会

2月20日

12月20日、管内2カ所において、令和6年産リンゴ早生・中生種の精算報告会を開催しました。

JA本所大会議室には27人の生産者が集まりました。大場組合長は冒頭の挨拶で、昨年比110%となった入庫数量に感謝しました。三上販売部長は人手不足や働き方改革のため、入庫時間の制限等によりご迷惑をお掛けしましたと話しました。

東京青果(株)渡辺審議役からの市場情勢報告では「競合果実が少ないため販売環境は良い。晩生種の販売も任せてください」と力強い言葉をいただきました。



食味・硬度を重視した生産をお願いしますと力説

果樹産地強化 PT検討会議

9月

12月20日、果樹産地強化プロジェクトチーム(以下、果樹PT)が検討会議を開催しました。

農業振興課より6年産リンゴ入庫数量の黄色品種割合が30.2%だったことが報告され、市場関係者の意見を聞きながら意見交換を行いました。

また果樹PTで2年間試験を行ってきた「葉とらず有袋ふじ」の取組みについて話し合い、7年産から取扱いを開始することが決まりました。今後冬期講座等で情報を発信し、生産者へ周知してまいります。



今後のリンゴ栽培について熱く検討するPTメンバー

お正月用 フラワーアレンジ講座

5月

12月23日、JA女性部はフラワーアレンジ講座を開催しました。

弘前市役所相馬庁舎に部員15名が集まり、フラワーガーデンミミの小山内美喜子さんを講師に迎え、お正月用のフラワーアレンジを作りました。講師からの「もう1センチ切ってみて」「もう少し斜めに挿してみても」という的確なアドバイスでぐっとバランスが良くなり、参加者それぞれのステキなアレンジが出来上がりました。



講師のアドバイスで華麗に活ける



異常が見つかったら早めに受診しましょう



12月24日、青年部が11月に受けた健診結果に基づいた保健指導を受けました。指導には弘前市役所の保健師8名が対応し、部員一人一人の健診結果に基づいて指導していました。

受付をし、血圧測定・体重測定を行った部員は「血管年齢60歳だ」と笑っていましたが、保健師から部員全体に共通して「尿酸値」が高めと聞くと、真剣な表情で指導を受けていました。

部員からは「忘年会シーズンだが飲みすぎないようにしよう」という声が聞かれました。

青年部健診保健指導



お子さんの前でかっこかわいい姿を披露

12月27日、相馬保育所のもちつき会が行われ、青年部がお手伝いしました。

園児たちがかもちつきの歌で応援する中、かっこいい姿を見せたお父さん部員とこれからお父さん!? 部員たち。かわいいエプロン姿で登場した成田篤郎さんと清野大輝さんは、慣れた様子でもちつきを披露し、「よいしょー」や「がんばれ」と声援をもらっていました。

今回使用したもち米は青年部が栽培したもち米6キロを提供。福田耕正部長は「自分たちのもち米が役に立って良かった」と作り甲斐を感じていました。

相馬保育所もちつき



不安を解消できたと喜ぶ相談者

1月10日、金融課では社会保険労務士を招いて年金相談会を開催しました。事前に金融課職員が年金事務所へ加入記録照会などを行い、それを元に社会保険労務士の先生が具体的な相談を受けていました。

相談に訪れた方は、年金をもらう際の手続きについてや、何歳から受給すればいくらもらえるかなどを相談し、「早くもらった方がいいのか悩んでいた。相談できてよかった」と話していました。

金融課ではその他の日でも年金等の相談に乗っておりますので、お気軽にお声がけください。

年金相談会開催



中南地域県民局 からのお知らせ

令和6年12月28日からの 大雪による被害者に対する県税の減免等について

このたびの令和6年12月28日からの大雪により、多大の被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

被害を受けられた方々が今後納付すべき県税（個人事業税、不動産取得税及び自動車税（種類割））については、被害の状況に応じ減免する等の措置を執ることとしております。詳しくは、最寄りの地域県民局県税部に御相談ください。

問合先 中南地域県民局県税部 TEL 0172-32-4341

お年玉企画 当選者決定!!



1月20日、広報1月号お年玉企画の抽選が行われました。大場勉組合長と三上隆基専務が抽選する様子を管理職が見守り、厳正に当選者を決定しました。

応募ハガキにはJAや広報誌への意見も多数寄せられました。
・JAから毎年いただく大判カレンダーが大変重宝しています
・農道の除雪をこれからも続けてGS特売日は誘導してほしいなど、たくさんの方の率直な意見をいただきました。いただいた意見を共有し、これからも役職員一丸となって業務に取り組んで参ります。



1 番人気はB賞のホタテでした！

農道除雪で農家応援！



1月20日から今期4回目の管内の幹線農道6路線の除雪を行いました。

除雪作業に当たっている今祐介さんは「前回の除雪時には、除雪車の後ろを農家のトラックがついてきた。園地を確認したい農家が多く驚いた」と話し、迅速に作業しようと思った様子でした。大場勉組合長も「農道除雪を最優先事項として農家を応援していく」と力強く話しました。

JA農業振興課では、裂開や枝折れした樹の傷口から腐らん病菌の侵入が懸念されるため、バッチリートを塗布するよう指導しています。



1月中旬の積雪深は去年の約4.5倍

融雪促進剤散布試験



1月22日、JAは肥料メーカーと協力してドローンでの融雪促進剤の散布試験を行いました。

記録的な大雪に見舞われリンゴ園地の積雪は1mを超えています。JAが購入費助成を行っている「菌源炭」など5種類を1反歩当たり2袋散布しました。

JA農業振興課では、融雪状況を経過観察し、生産者の皆さんへ情報発信してまいります。

今後も雪害防止対策を進めてまいります



ふるさと納税で ジュース人気



JAでは弘前市のふるさと納税返礼品として「無添加リンゴジュース詰め合わせ」を提供しています。毎年年末に駆け込み申込みが集中しますが、令和6年末には8000件以上の申込みがあり、JAジュース加工所では製造に追われています。令和6年の申込み総数は20,245件でした。そのうちジュース詰め合わせは約8割の15,929件、次いでみつまるくん、わけありサンふじの順となっています。大量の申込にフルーツステーションスタッフも応援し、箱詰め作業や発送作業を手伝っていました。



搾りたての新鮮なジュースを発送

果実販売動向

販売課 田村 慎平



平素からJA相馬村フルーツステーションをご利用いただき誠にありがとうございます。1月の果実販売動向をお伝えします。

ミカンについては各地の市場で1月中に九州・和歌山など西国から静岡県への産地の切り替わりが進みました。6年産のカムシ被害等による収穫量の少なさは全国的な傾向となっており、産地が切り替わった後も市場への入荷量は少ない状況が続きました。終盤に向けて売り場は縮小傾向となっているものの、他中・晩かん類も少ないことから価格は高値基調となりました。

イチゴについては出荷が遅れていた九州・関東産がピークとなり、年末の贈答時期からは価格は落ち着いたものの、1月中は各産地で寒波が到来し着色が進まなかったため想定よりも流通量は増えませんでした。5年産と比べて高値での販売は続いたものの、月末には引き合いも弱まっていき、価格は徐々に下げ基調となってきました。リンゴについては昨年末は各産

地で台湾向けの出荷がピークだったこともあり、国内市場への流通は限定的なものとなりました。年明けからは若干増加したものの、流通量は少ない状況が続いています。そのような中でも売価高により末端での消費が停滞しており、市場では流通在庫の整理が進まず荷動きが鈍い状況となりました。サンふじに関しては荷動きの鈍さを受けて価格は下げ基調での販売となりましたが、ジョナ・王林に関しては総体量の少なさから一定の引き合いがあり、安定した販売となりました。

輸出に関しては、春節が昨年よりも早まっているため、台湾・ベトナム向けの出荷は12月がピークとなりました。当農協でもサンふじ・有袋ふじ・金星・世界一・おつが12月末から1月初めで順調に出荷され、1月15日時点での台湾への出荷量は、前年同期と比べて150%となりました。

今後の展開ですが、ミカンについては1月で最終盤を迎えて中・晩かん類へと切り替わっていきま

す。かんきつ類は主力の和歌山県産が昨年夏に高温の影響を受けたため着果不良や着色不良がみられており、5年産を大きく下回る出荷予想となっています。そのため総体量の少なさによる高値基調が続く見通しです。

イチゴについては産地の気温が不安定で、それにより入荷量も不安定になる見通しです。ただし1月中に価格が下がっていったことにより再度売り場を展開して企画を組む動きもみられており、荷動きの回復が見込まれます。

リンゴについては下位等級品を中心に入荷量は増加していく見込みですが、末端売価の高さによる荷動きの緩慢さは続く見通しで、価格は引き続き弱含みでの展開が予想されます。ただし時期が進むにつれて競合品目は少なくなっていく、徐々にリンゴの売り場や企画は増えていくことと思われます。本年は全国的な物価高の中、単価の高い品物はリンゴに限らず末端での消費は鈍い状況となっています。そのため例年以上に品質の低下には注意が必要となっており、市場の動向を逐一注視しながら適切なタイミングでの有利販売に努めてまいります。

全農あおもりデータ（1／31累計）

品 種	サンつがる	早生ふじ	ト キ	きおう	王 林	シナゴールド	サンジョナ	サンふじ	その他	合計
単 価 (円)	2,975	4,196	3,459	3,240	4,364	4,420	4,663	4,837	4,262	4,052
前 年 比 (%)	90	96	94	104	106	118	110	120	105	105
販売数量 (箱)	738,116	493,247	201,444	116,370	181,520	8,564	126,994	1,257,292	618,463	3,742,038
前 年 比 (%)	120	94	113	76	90	251	106	90	101	100

※10kgダンボール1箱当たりの数値となります

生産情報

農業振興課主任 齊藤 大貴

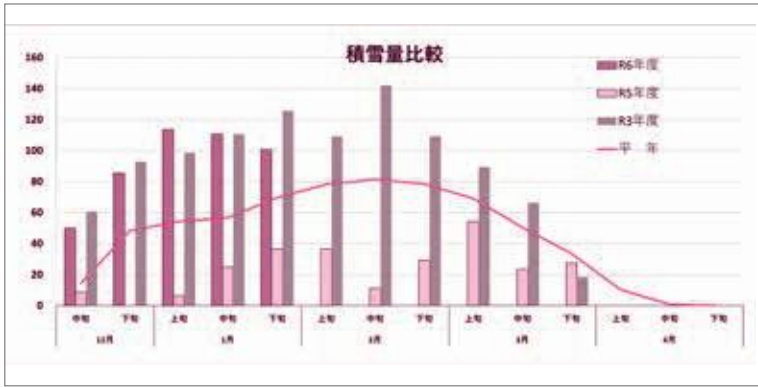


●記録的豪雪

J A相馬村管内における1月下旬の平均積雪量は101cmとなっており、昨年と比べて65cm上回っています。尚、当JAではスマートフォンアプリ「テレグラム」で積雪量推移等の最新情報も配信しています。

令和6年度JA相馬村積雪量調査

(単位: cm)



雪害による主枝の折損

●りんご樹の雪下ろしを

記録的な豪雪により、りんご樹の裂開や枝折れなどの雪害が確認されています。被害防止に向けて引き続き雪下ろし作業を行いましょ。

●腐らん病に注意

雪害による被害部分から腐らん病菌の侵入が懸念されます。例年に引き続き、腐らん病の感染に十分注意して対策に取り組みましょ。腐らん病については、薬剤防除だけに頼ることなく、粗皮削り等

の耕種的防除を併せて総合的に行うことが大切です。枝腐らんについては、剪定の際に徹底的に切り取りとるほか、剪定痕などの新しい傷口から侵入しやすいため、剪定によって生じた切り口には、その日のうちにバッチレートを塗り、感染の防止とカルス形成の促進に努めましょ。尚、病原菌は外観上の病斑よりも先まで侵入しているため、切り取る際は健全部分を5cm以上含めて切り取り、病原菌が残らないようにしましょ。また、切り取る場合は、その後のカルス形成を良好にして枯れ込みを少なくするために、健全な芽(又は枝)のすぐ上で行いましょ。

胴腐らんについては早期発見に努めて被害部分の処置を行いましょ。尚、塗布剤には、その有効成分が樹皮内部の深いところまで侵入するタイプと浸透しないタイプの2種類があるので、それぞれの特性をよく理解して間違いないように行いましょ。

◆トップジンMオイルペースト

本剤の有効成分は樹皮内部の深いところまで浸透します。病斑の境界部を確認し、内部の腐敗した

樹皮を削り取り、削り取った跡にはトップジンMオイルペーストを丁寧に塗布しましょ。尚、本剤は治療後のカルス形成を阻害する傾向が強いので、カルス形成が劣る衰弱樹は腐らん病治療には適さないとされています。また、本剤は耐性菌を生じやすい性質を持っているので、再発した場合はフランカットスプレー又はバッチレートによる治療を行ってください。

◆バッチレート又はフランカットスプレー

本剤の有効成分は樹皮内部に浸透しにくいので、病幹部だけでなく周辺健全部も丁寧に削り取ってから処理を行いましょ(削り取った跡が紡錘形になるようにする)。(注) フランカットスプレーはカルス形成促進効果が期待できない。



2種類の塗布剤

令和7年産りんご防除の 変更点について

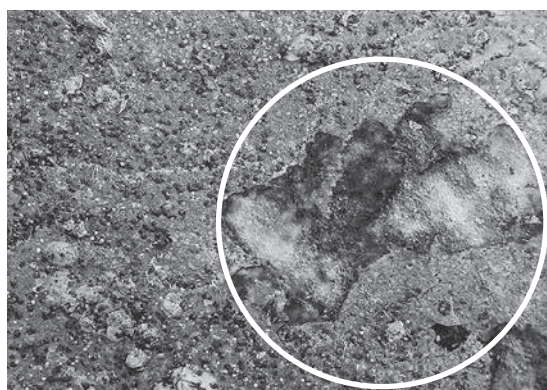
1月14日、JA相馬村りんご共同防除組合連絡協議会とJAが防除暦編成会議を行い、令和7年産りんご防除の変更点を確認しました。

ナシマルカイガラムシ 防除の強化

昨年6月中旬頃、果実に赤い斑点が見られるとの相談が相次ぎ、ナシマルカイガラムシの被害が確認されました。県内各地でも同様の被害が報告されたことから、防除の強化をはかります。

- ・被害樹の枝幹では表面下が赤紫色に変色
- ・寄生枝の葉は冬季になっても落ちにくい
- ・剪定の断面が紫色に変色している

剪定時にはこのような点に注意し被害が生じている園地又は樹で



ナシマルカイガラムシの被害樹

は発芽前にハーベストオイル50倍の特別散布を実施し、越冬幼虫を対象に散布します。

また、発生が多い園地では1齢幼虫の移動が始まる6月中旬頃にコルト3000倍を散布して防除に努めましょう。

リンゴハダニ対策

令和6年はハダニ類の初発が遅かったことが印象的でした。例年に比べリンゴハダニの発生も一部園地で見られ、防除剤が限られている中で防除に苦労する場合も散見されました。

リンゴハダニは卵で越冬し、越冬卵は枝の分岐部、芽の基部、樹皮のしわ部分などに産み付けられます。発生が懸念される場合は、**春先のマシン油200倍と落花直後のバロック2000倍**での初期密度低下を図りましょう。落花直後以降は予察を徹底し、発生状況に応じた適切な殺ダニ剤の選択をするなど、最後まで気を緩めることなく防除に徹することが大切です。



リンゴハダニの越冬部位

褐斑病対策

褐斑病の防除は、7月上旬からの二次感染を防ぐのではなく、春先の一次感染を防ぐことが重要となります。本年の防除においても菌密度が高いことが懸念される場合は、**開花直前にバリード2000倍**を選択しましょう。

コンフューザーRの設置

菌密度低下と被害果の減少に向けては、地域一丸となつてのコンフューザーRの設置が前提の防除となります。本年も積極的な設置をお願いいたします。



JA全農あおもりから前掛けが提供されます

いきいき女性部通信

事務局 石田 有希子



1月22日、Aコープから講師の先生を招いて『お酢を使った料理教室』を中央公民館相馬館調理室で行い、部員・地域女性合わせて13名が参加しました。

作ったお料理は①えびとしは漬けの彩りちらし ②もやしと豆苗のサラダ ③鶏手羽中の甘辛黒酢焼き ④ごぼつきのこの生姜スープの4品です。

お酢は、食中毒予防、コレステロール減少、疲労回復、減塩対策など、身体に嬉しい効果が期待できます。またAコープの商品は、



鶏手羽中の甘辛黒酢焼き、いい香りが漂います



部員と地域女性の交流も生まれました！



完成したお酢レシピ4種はどれもおいしい！

健康で長生きするために、食事は大切な要素。お酢を使うと、それ自体が身体に良い上に、減塩にもつながります◎元気で長生きできるように、おいしくて身体にもいい工夫をしたいですね。

また1月28日は、本所2階役員室にて当JA60周年記念誌に掲載するための『常勤役員との女性部座談会』を開催しました。

主にここ10年の活動についての振り返りと、この先の活動について、三上隆基専務と女性部役員4名が話し合いました。

年々減少している部員数についての話になると、監事の溝江美幸さんは「地区の公民館の掃除に顔を出すようになり、誘ってもらい

入部した」と入部のきっかけを話し、集まりが楽しいだけでなく、活動を通して情報交換ができる点も良い点に挙げていました。

最後に部長の田澤真由美さんが「この10年、監事からはじまり副部長、部長となりました。JAの女性理事としても自分なりに勉強をしながら、頑張っていきたいです」と話されました。

女性部は地域のこども園や小学校と連携して、食と農の側面から子ども達を支援する活動が多いので、子育て世代だからこそ楽しく参加できるものも多くあります。これからに向けて、部員の楽しさに加え、知識や生活の向上も念頭におきながら、活動していきます！



座談会では活動への思いを話しました

だれ？
ダレ？

スマイル職員インタビュー

最近「農協に行っても知らない人ばかりになっちゃったなあ」という声をよく耳にします…安心してください！ 紹介しますよ!!



ささっと
陳列も直します



レジ早打ちナンバー1！

直売所

おさみ

長見

さくらさん

2000年生まれ



梅味もおいしいです

Q 今はまつてることは？
『こんぶ』です！ 直売所でも売ってる、カルクカムこんぶ大好き！

Q 学生時代アルバイトしてましたか？
佐藤長でやってました。その時からレジは得意です。

Q 実家は農家ですか？
リンゴ農家ですけど、ちょっとしか作ってないです。

Q これまでの担当業務は？
直売所→スタンド→直売所です。今2回目の直売所3年目です。

Q 農協に入って何年目？
6年目です。

十面沢出身 長見さくらさんに
インタビュー!!

直売所の

これ食べた？

おおば農園さんの「りんごあめ」

相馬のリンゴだけを使っています。リンゴがおいしい時期だけの期間限定商品です。カットして食べるのがおすすめとのこと。溶けやすいので、冷蔵コーナーに並んでいます。

おいしい＆かわいい見た目！ これは買うしかない！



地域おこし協力隊 活動記 Vol.108

わたし（加賀）が相馬に来たのは一昨年の2月なので、3度目の冬を迎えたことになりました。それにしても1月初めの雪にはびっくりしました。父親の故郷・下北よりも多いだろうと覚悟はしていましたが、ここまで降るとは。昨年は思いのほか雪が少なかったたので、北国の冬が厳しいことを初めて実感しました。

北国といっても、世界的に見れば必ずしも大雪が降るとは限らないようです。青森県と同じくらいの緯度に位置するニューヨークやローマ、北京は真冬に多少雪がちがつくことがあるものの、大雪になることは珍しいらしく、イチローがいたシアトルは北海道より北に位置しますが、減多に雪は降らないとのこと。地形や海流の違いで気圧配置が違うのでしょう。

雪の量は国内の同じ東北地方でも地域によってかなり違うようです。さる1月22日、23日と一泊二日で宮城県栗原市の花山地区と岩手県奥州市江刺の伊手地区を視察してきました。驚いたのは、どちらも思いのほか雪が少なかったこと。山間に行けばそれなりに積もっているのですが、平地ではほとんど見かけませんでした。弘前の大雪に見慣れたせいか、ちよつとした衝撃を受けたものです。

視察には我々協力隊のほか、協力隊応

援協議会のメンバー9名が同行。おもにはなやまネットワークと伊手農村農業活性化協議会という地域振興団体の活動を視察してきました。紙幅の都合で詳細報告は別の機会に譲りますが、どちらも相馬同様、少子高齢化が深刻化する地域で、地域資源を掘り起こし、活用して地域の活性化に取り組んでいます。相馬にも参考になることが多々ある気がして、今後の活動に生かしていきたいと思っています。

まずは相馬の地域資源を見直してみる



はなやまネットワークでの視察の様子。移動支援や空き家対策などについて、視察者からの質問が相次ぎました

ことが先決かもしれません。押しも押されぬ名産品である飛馬りんご以外にも、相馬の「売り」は少なからずあるのではないのでしょうか。思いつくところでは、温泉、オニテナガエビ、山菜、数々の伝説や歴史……。まだまだあるかと思いますが、いずれの地域資源も守ったり生かしたりするのは人にほかなりません。子どもからお年寄りまで相馬のすべての人が元気に楽しく暮らし、そして相馬を愛し地域のために活動する人がより増えていくようになればいいなと願っています。



旅装を解いたのは、温泉温泉「佐藤旅館」。震災で閉館に追い込まれつつあった旅館を、元地域おこし協力隊の阿部幹司さんが復活させ、運営しています



JA 相馬村概況

〈令和7年1月末日現在〉

組合員数…………… 836 人
 (うち准組合員数 …… 380 人)
 出 資 金……………599,465 千円
 貯 金 額…………… 10,744,517 千円
 共済保有高……………2,865,319 万円

理事会だより

1月21日(火)

- 1) 12月末残高試算表及び仮決算について
- 2) 組合員の加入、脱退及び名義変更について
- 3) 不良債権四半期報告について
- 4) 貸付関係について
- 5) 令和6年度米概算金追加払いについて
- 6) りんご販売関係について

報告事項1 事務ミス報告制度運営状況報告

編集部つぶやき〜編集後記〜

1月号のお年玉企画にはたくさん応募いただきありがとうございました。賞品の引渡しも無事に終わりほっとしています。ホタテの人氣が高くてびっくり。当選したみなさんおめでとうございます！そしてなんの連絡もなかった方は残念でした…ということなので、来年リベンジしてくださいね。

皆さん力尽きていませんか？私は年末に体調を崩して1ヶ月くらい調子が悪かったです。いろいろ流行ってますので気を付けてください。今月も最後まで読んでいただきありがとうございます。

じ子

毎月第2金曜日はJA-SSの日！

3月14日(金)開催！

ガソリン又は軽油を2000円以上給油で当たる！
 3月はトイレットペーパー！
 しかもダブル！1.5倍巻！
 こんなナンボあってもいいですからね。



今月のあなたの運勢・3月

【モナ・カサンドラ】

◆ 全体運 ● 健康運 ★ 幸運の食べ物

牡羊座 3/21~4/19

- ◆ 上昇運。迷っていたことに方向性を見いだせよう。やりたことをリストアップすると吉。外出を増やして
- 部屋の中でする運動にツキ。ストレッチを
- ★ ウド

牡牛座 4/20~5/20

- ◆ 少しお人よしが過ぎてしまうようです。できないことまで引き受けないように。用事を整理し、予定を立てて
- 肩を回して肩凝りを予防。日頃の心がけが大事
- ★ キウイフルーツ

双子座 5/21~6/21

- ◆ 手詰まりを感じていたことに活路を見いだせます。小まめに情報収集を。友人の意見を参考にするのもお勧めです
- 食欲が増加。ローカロリー食材に注目を
- ★ 春キャベツ

蟹座 6/22~7/22

- ◆ 周囲からの支援が心強いとき。口うるさいと感じる助言にも聞いておくだけのメリットがあります。仕事優先で
- クイズで頭の体操を。ヘッドマッサージも◎
- ★ ウルイ

獅子座 7/23~8/22

- ◆ 面倒な相手ほど丁寧に接しましょう。経験談には今のあなたに役立つ話が入っているはず。旅行の計画にツキ
- 生活の中に香りを取り入れてリラックス
- ★ キュウリ

乙女座 8/23~9/22

- ◆ 予想外の展開がありそう。かなりの追い風です。反発するより流れに乗るのが正解。臨機応変にチャンスを生かして
- 羽織るものを用意。気温変化に合わせて脱ぎ着を
- ★ つまみ菜

天秤座 9/23~10/23

- ◆ やることが多く忙しくなりがち。スケジュールの組み方で効率化を図れます。冷静に状況を整理しましょう
- 血行促進を心がけて。お風呂はぬるめて長めに
- ★ グリーンピース

蠍座 10/24~11/22

- ◆ 好調運。長年の苦労が報われる出来事の予感です。新しいことを始めるのも吉。お花見に出かけましょう
- 筋トレが吉。ハードなスポーツも楽しめます
- ★ サヤエンドウ

射手座 11/23~12/21

- ◆ 理不尽な状況に心を痛めることがあるかもしれません。運勢は下旬から上昇。様子を見て待つのも1つの手
- 無理はしないで。古傷や持病はしっかりケア
- ★ ジャガイモ

山羊座 12/22~1/19

- ◆ スリリングな運氣です。危ない場所には近寄らないで。周囲とコミュニケーションをよく取って誤解のないように
- 自分に合ったストレッチを選んで。無理は禁物
- ★ ソラマメ

水瓶座 1/20~2/18

- ◆ 争いは避け調整を心がけて。平和的な手段を取ることであなたの株が上がります。近距離旅行にツキあり
- 食事、運動、睡眠、生活習慣をチェックして
- ★ タケノコ

魚座 2/19~3/20

- ◆ 勢いがあります。ダメ元でやってみたこともなんとかなりそう。率先して動きましょう。行動的なほど開運
- 運動で良い汗をかきましょう。体力もアップ
- ★ ニラ



わが家の もふもこちゃん



大好きなお父さんのあとを
ちょこちょこついて歩く...♡
ウェルシュ・コーギーちゃん



お父さん！



お父さん!!



お父さん!!!

だいすき♡♡

おうちもスキだけど散歩もスキ



Love

みんなの話
きいてるよ



ポクのおうち！
いいでしょ

飼い主さんに
聞いてみた！



相馬地区のペットちゃんを紹介する癒しのコーナー♡
今回は湯口地区 山内明さんちの「レオくん」です。
チャームポイントの大きな耳で、みんな話を聞いている
頭のいい子。まあいいおしりも超かわいかったです♡♡



JA相馬村広報

りんごの森

2025.2 Vol.511

■発行 相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集 総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日 2025年2月15日

本所	0172-84-3215(代)
本所フルーツステーション	0172-84-3293(代)
本所フルーツステーション特産販売	0172-84-3218(代)
J A 共済事故受付センター	0120-258931
湯口支所・機械化センター	0172-84-2470(代)
湯口セルフスタンド	0172-84-2550(代)
直売所「林檎の森」	0172-84-3411(代)
津軽LPガス保安センター	0172-36-0404(代)
ライスセンター	0172-84-2217(代)
りんご加工センターA棟	0172-84-3380(代)
相馬支所・フルーツステーション	0172-84-2534(代)
J A 津軽葬祭センター	0120-7676-60